

**政策シート** 政策名 04 安全・安心な市街地の形成

予算費目名 01 市街地整備事業費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

**理想の姿 (30年後)** ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

**政策の柱 (10年後)** ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。  
 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 03 市民が集う活力ある都市づくり

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

- 交通結節点の機能強化
- 密集市街地及び低未利用地のインフラ整備推進など都市基盤の再構築

(3) 関連するSDGsのゴール

①都市								
-----	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	121,962	80,943	145,370	426,926		
決算	111,963	72,349	84,599			
人件費(報酬等)(A)				176		
人件費(人工分)(B)	134,500	154,700	158,900	167,300		
年間経費(予算又は決算+A+B)	246,463	227,049	243,499	594,402		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
施行中の土地区画整理事業進捗率	%	目標	99	99	99	56	62	70
		実績	99	99	99			
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

- 交通結節点の機能強化
- 密集市街地及び低未利用地のインフラ整備推進など都市基盤の再構築

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り  
 ○組合等区画整理支援事業は、事業の進捗に伴い補助金の交付を一部取りやめた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	高塚駅北第二公共団体区画 整理事業	○	—	○		118,450	84,674	4.8				176
2	浜北中央北地区公共施設整 備事業	○	—	○		175,055	147,755	3.9				
3	組合等区画整理支援事業	○	—	○		136,800	124,200	1.8				
4	区画整理地区内水道整備事 業負担金	—	—	—		20,876	20,176	0.1				
5	土地区画整理等調査事業	—	—	—		55,205	41,205	2.0				
6	移転者助成事業(補助金)	—	—	—		714	14	0.1				
7	市街地整備運営経費	—	—	—		87,302	8,902	10.4			2.0	
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						594,402	426,926	23.1			2.0	176

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

## 事業シート (事業名) 01 高塚駅北第二公共団地画整理事業

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

高塚駅周辺の拠点性を高める良好な都市環境整備と都市機能の集積が図られる市街地への整備改善を行うことを目的に土地画整理事業を実施するもの。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2022	2031	一般会計		都市計画法、土地画整理事業法

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	Ⅲ-4(1)ア	Ⅲ-4(1)イ					
重点戦略	—	(戦略項目)							

#### (4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの関連性	土地画整理事業の推進により、交通の安全性改善、包摂的かつ持続可能な都市化の促進、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスの提供を促進する。								

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算				84,674		
	決算						
	国・県支出						
	市債						
	その他				78,000		
	一般財源				6,674		
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)					176		
人件費(人工分)(B)					33,600		
人工	正規				4.8		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)					118,450		

### 3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
高塚駅周辺の居住誘導区域内人口の維持(人)	Ⅲ-4(1)ア		目標				2,404	2,416	2,428
			実績						
高塚駅の利用者数の維持(千人)	Ⅲ-4(1)イ		目標				829	837	845
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

#### 4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)



#### 5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題  
 指標の達成度

---

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



#### 6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)  
 大項目  小項目  /  事業費  人工

---

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)  
 大項目  改善  小項目  国・県補助金  /  事業費  拡大  人工  現状   
 2022年度の事業認可以降に先行買収、用地補償による事業費の拡大が見込まれるため、国庫補助事業である都市構造再編集集中支援事業の活用を図る。



#### 7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

国から事業認可を受け、事業着手する。審議会委員選挙人名簿作成、換地設計準備、無電柱化検討、移転物件調査、路線測量、用地測量、不動産鑑定を実施する。

## 事業シート (事業名) 02 浜北中央北地区公共施設整備事業

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

医療・福祉等のサービス施設を誘導し、公共交通ネットワーク沿いへの人口集積を高め効率的な土地利用を図るため、浜北中央北地区画整理事業と合わせて公共施設の整備を行うもの。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	2030	一般会計		都市計画法、道路法、都市再生特別措置法

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	Ⅲ-4(1)イ						
重点戦略	—	(戦略項目)							

#### (4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの関連性	土地区画整理事業の推進により、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善、包摂的かつ持続可能な都市化の促進、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスの提供を促進する。								

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			30,157	147,755		
	決算			26,785			
	国・県支出				57,300		
	市債				52,600		
	その他				35,000		
	一般財源 一般会計繰入金			26,785	2,855		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				25,900	27,300		
人工	正規			3.7	3.9		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				52,685	175,055		

### 3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
小林駅の乗降客数(人/日)			目標			2,720	2,760	2,800	2,830
			実績			2,256			
周辺居住人口(人)			目標			8,270	8,300	8,330	8,370
			実績			8,063			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

#### 4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

小林駅前広場における路線用地測量、詳細設計及び物件調査の実施  
 都市計画道路整備における県との街路事業認可協議の実施  
 浜北中央北土地区画整理事業との連絡調整



#### 5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度  計画通り

小林駅前広場における測量、設計及び用地調査について業務委託を行い、関係機関(道路管理者、公安等)との協議や権利者に対する物件調査等を実施した。  
 都市計画道路整備に関する街路事業認可協議について、県と密に協議した結果、(都)本通り線(小林工区)における事業認可を受けることができた。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

組合施行の浜北中央北土地区画整理事業が設立認可され、小林駅周辺地区として、持続可能で安全・安心に暮らせる快適なまちづくりを進める。



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  現状  小項目  現状  /  事業費  現状  人工  現状

小林駅前広場の用地建物補償に向けて、計画通り、権利者と境界立会及び物件調査等を実施することができた。

都市計画道路に関する街路事業認可協議について、(都)本通り線(小林工区)における認可を受けることができた。

##### (2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  改善  小項目  国・県補助金  /  事業費  拡大  人工  拡大

設立した浜北中央北土地区画整理事業の工程を踏まえ、都市計画道路整備計画の工程検討を実施する。

2022年度以降、都市計画道路の用地建物補償に着手することから、事業費及び人工の拡大が見込まれる。

浜北中央北地区の事業化に伴い、2023年度以降事業費の拡大が見込まれるため、国庫補助事業である都市構造再編集集中支援事業の活用を図る。



#### 7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

都市構造再編集集中支援事業による国交付金を活用し、小林駅前広場における用地建物補償を進める。併せて、(都)本通り線について測量、設計及び物件調査を実施する。

浜北中央北土地区画整理事業と密に連携を図り、円滑な整備計画を推進する。

# 事業シート (事業名) 03 組合等区画整理支援事業

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

健全な市街地の発展及び改善を図ることを目的に、地権者が共同にて行う組合施行による土地区画整理事業に対し、公共施設整備に係る事業費の一部を補助金交付要綱に基づき補助するもの。

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1995	-	一般会計		都市計画法、土地区画整理法、都市再生特別措置法

### (3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	Ⅲ-4(1)ア	Ⅲ-4(1)イ					
重点戦略	-	(戦略項目)							

### (4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの 関連性	土地区画整理事業の推進により、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善、包摂的かつ持続可能な都市化の促進、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスの提供を促進する。								

## 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	20,000		18,300	124,200		
	決算	20,000		18,300			
	国・県支出						
	市債						
	その他			17,300	114,000		
	一般財源 一般会計繰入金	20,000		1,000	10,200		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		31,500	33,880	19,880	12,600		
人工	正規	4.5	4.8	2.8	1.8		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.1	0.1			
年間経費(予算又は決算+A+B)		51,500	33,880	38,180	136,800		

## 3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
施行中の組合土地区画整理事業進捗率(%)			目標	97	98	100	70	74	81
			実績	97	97	97			
立地適正化計画策定の進捗率(%)			目標	100	—	—	—	—	—
			実績	100	—	—	—	—	—
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

#### 4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

土地区画整理事業国庫補助金(基本事業費) : 施行地区内の都市計画道路を用地買収方式により整備されることとして積算した事業費の額を限度額として補助する。  
 市補助金 : 土地区画整理事業は、公共施設の整備、健全な市街地の造成により公共の福祉の増進に資することを目的とすることから、一定の範囲内で土地区画整理組合に対して助成を行う。  
 「浜松市組合等土地区画整理事業費補助金交付要綱」により交付を行う。



#### 5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

船明地区については、事業進捗状況を考慮して、補助金額を減額し交付した。

浜北中央北地区については、予定していた地区界測量業務を組合単独費にて執行することになったため、補助金交付を取り止めた。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

人口減少社会の到来や限られた財政状況の中で、都市の持続可能性の確保や都市活力の持続・向上のためには、都市計画の基本理念のもと、コンパクトな都市(拠点ネットワーク型都市構造)の実現に向けたより一層の取組が重要となっている。



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

船明地区については、引き続き早期に保留地処分できるように、指導・助言を行い、早期事業完了を目指す。  
 浜北中央北地区については、仮換地指定(2023年度)以降に補助金を交付することとした。

##### (2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

各組合の事業進捗に合わせて予算を確保し、効率的に事業を促進する。

浜北中央北地区の事業化に伴い、2023年度以降事業費の拡大が見込まれるため、国庫補助事業である都市構造再編集集中支援事業の活用を図る。



#### 7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

土地区画整理事業は、公共施設の整備、健全な市街地の造成により公共の福祉の増進に資することを目的とすることから、道路、河川水路、公園等を用地買収方式により整備されることとして積算した事業費の額を限度として、土地区画整理組合へ「浜松市組合等土地区画整理事業費補助金交付要綱」に基づき補助金を交付する。



## 事業シート (事業名) 04 区画整理地区内水道整備事業負担金

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

浜松市水道事業及び下水道事業管理者と協定を締結し、水道施設工事負担金を負担するもの。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2003	2040	一般会計		

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

#### (4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの関連性	土地区画整理事業の推進により、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善、包摂的かつ持続可能な都市化の促進、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスの提供を促進する。								

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	20,176	20,176	20,176	20,176		
	決算	20,176	20,176	20,176			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	20,176	20,176	20,176	20,176		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	700	700		
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		20,876	20,876	20,876	20,876		

### 3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
2022年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	04	01	002120000	04	市街地整備課	鈴木 祥司	2022.7.1

#### 4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

##### ○ 浜北新都市水道施設工事負担金

「浜北新都市開発整備事業に係る上水道事業の負担に関する覚書(2003年10月27日締結)」に基づき、浜松市水道事業及び下水道事業管理者と「浜北新都市開発整備事業に係る上水道事業の負担に関する協定書」による協定を締結し、浜北新都市水道施設工事負担金を負担する。

2010年度工事分までを対象とし、償還完了は2040年度とする。



#### 5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

浜松市水道事業及び下水道事業管理者と「浜北新都市開発整備事業に係る上水道事業の負担に関する協定書」による協定を締結し、浜北新都市水道施設工事負担金(2021年度分)を計画どおり支出した。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

浜松市水道事業及び下水道事業管理者と「浜北新都市開発整備事業に係る上水道事業の負担に関する協定書」による協定を締結し、浜北新都市水道施設工事負担金(2021年度分)を計画どおり支出した。

##### (2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

「浜北新都市開発整備事業に係る上水道事業の負担に関する覚書(2003年10月27日締結)」に基づき、浜松市水道事業及び下水道事業管理者と「浜北新都市開発整備事業に係る上水道事業の負担に関する協定書」による協定を締結し、浜北新都市水道施設工事負担金を2040年度まで計画どおり支出する。



#### 7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

##### ○ 浜北新都市水道施設工事負担金

「浜北新都市開発整備事業に係る上水道事業の負担に関する覚書(2003年10月27日締結)」に基づき、浜松市水道事業及び下水道事業管理者と「浜北新都市開発整備事業に係る上水道事業の負担に関する協定書」による協定を締結し、浜北新都市水道施設工事負担金を負担する。

2010年度工事分までを対象とし、償還完了は2040年度とする。

## 事業シート (事業名) 05 土地区画整理等調査事業

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

土地区画整理事業等に必要となる行政手続きや各種調査を実施し、円滑な事業の推進を図るもの。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2003	—	一般会計		都市計画法、土地区画整理法、都市再開発法

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

#### (4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市									
事業とゴールの関連性	土地区画整理事業等の推進により、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善、包摂的かつ持続可能な都市化の促進、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスの提供を促進する。								

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	70,292	52,314	23,951	41,205		
	決算	65,103	47,528	15,640			
	国・県支出						
	市債						
	その他				35,000		
	一般財源	65,103	47,528	15,640	6,205		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	7,700	14,280	47,880	14,000		
人工	正規	1.1	2.0	6.8	2.0		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.1	0.1			
年間経費(予算又は決算+A+B)		72,803	61,808	63,520	55,205		

### 3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

#### 4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

土地区画整理事業の各種調査、研究等の実施  
市街地再開発事業の各種調査、研究等の実施

#### 5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・土地区画整理事業では(仮)高塚駅北第二地区において、事業計画作成業務、雨水地下調整池予備設計、実施計画作成業務、移転計画案策定業務、地質調査業務、地区界測量業務、埋蔵文化財試掘調査を実施した。雨水地下調整池予備設計は、設計条件の変更に伴い繰越し業務を実施する。
- ・市街地再開発事業ではザザシティ浜松において、道路横断通路維持管理計画等作成業務を実施した。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・「コンパクトでメリハリの効いたまちづくり」の実現を目指し、居住機能や医療・福祉等の都市機能の立地、公共交通の充実等に関する包括的なマスタープランとして、立地適正化計画が策定されている。
- ・道路橋の老朽化対策として、定期点検に関する省令が施行され、道路管理者の義務の明確化を目的とした道路橋点検要領が通知されている。

#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・(仮)高塚駅北第二土地区画整理事業については、土地区画整理事業の都市計画決定、工業地域から近隣商業地域への用途地域の都市計画変更、地区計画の策定や立地適正化計画の誘導区域の変更を行うことができた。また、都市整備部公共事業評価審査会において、「事業を実施すべきである。」との判断を得ることができた。
- ・ザザシティ浜松道路横断通路維持管理計画等作成業務では、維持管理計画等の作成のための、既存設計図書の確認、現地調査(目視確認)、維持管理における課題等の整理、修繕計画の検討及び計画書の作成、道路施設への影響等に関する検証及び考察を行うことができた。

##### (2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・(仮)高塚駅北第二土地区画整理事業については、国から事業認可を受け、事業着手する。
- ・土地区画整理事業により整備されたインフラが高齢化し、維持・修繕等が必要となっている。道路インフラの調査等を実施し、計画的な維持・修繕により、重大事故を未然に防止する。

#### 7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

土地区画整理事業等の各種調査、研究等の実施

## 事業シート (事業名) 06 移転者助成事業(補助金)

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

都市計画事業(土地区画整理事業)の施行に伴う代替地取得資金等償還利子補給金交付要綱に基づき、貸付資金のあっ旋及び貸付に伴う利子補助を貸付金融機関に対して行い、事業の進捗を図るもの。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2000		一般会計	自治事務(その他)	浜松市都市計画事業の施行に伴う代替地取得資金等償還利子補給金交付要綱

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

#### (4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの関連性	土地区画整理事業の推進により、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善、包摂的かつ持続可能な都市化の促進、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスの提供を促進する。								

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	522	426	220	14		
	決算	321	253	87			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	321	253	87	14		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		1,400	700	700	700		
人工	正規	0.2	0.1	0.1	0.1		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		1,721	953	787	714		

### 3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

#### 4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

土地区画整理事業の施行に伴う代替地取得資金等償還利子補助金交付要綱に基づき、貸付資金のあっ旋及び貸付に伴う利子補助を貸付金融機関に対して行う。



#### 5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

とぴあ浜松農業協同組合、静岡県労働金庫に対し補助金を交付することにより、土地区画整理事業の進捗が図られた。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

##### (2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

引き続き、対象者に対し補助金を交付することにより、土地区画整理事業の進捗を図る。



#### 7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

土地区画整理事業の施行に伴う代替地取得資金等償還利子補助金交付要綱に基づき、貸付資金のあっ旋及び貸付に伴う利子補助を貸付金融機関に対して行う。

## 事業シート (事業名) 07 市街地整備運営経費

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

市街地整備課の事業(土地区画整理・再開発事業等)に係る、関係機関・団体等との連絡・調整及び情報収集などを実施し、事業の進捗を図る。また、所管市有地の管理、仮換地指定等に伴い使用できない土地の損失補償を行うもの。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1998		一般会計	自治事務(その他)	

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

#### (4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの 関連性	土地区画整理事業の推進により、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善、包摂的かつ持続可能な都市化の促進、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスの提供を促進する。								

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	10,972	8,027	52,566	8,902		
	決算	6,363	4,392	3,611			
	国・県支出						
	市債						
	その他	28	32	10	1,020		
	一般財源 一般会計繰入金	6,335	4,360	3,601	7,882		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		93,200	105,140	63,840	78,400		
人工	正規	12.4	14.3	8.4	10.4		
	再任用(31h)	1.0					
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.8	1.8	2.0		
年間経費(予算又は決算+A+B)		99,563	109,532	67,451	87,302		

### 3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

#### 4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

最低限必要な一般諸経費の執行により、市街地整備課の事業(土地区画整理・再開発事業等)を円滑に推進する。  
 国・県・他市町村、関係機関、関係団体等との連絡・調整及び情報収集を実施し、交付金確保及び適切な事業を執行し、事業の進捗を図る。  
 市街地整備課所管の市有地の除草等管理をする。  
 区画整理完了地区内の調査及び工事の実施。



#### 5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

##### (2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工



#### 7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

最低限必要な一般諸経費の執行により、市街地整備課の事業(土地区画整理・再開発事業等)を円滑に推進する。  
 国・県・他市町村、関係機関、関係団体等との連絡・調整及び情報収集を実施し、交付金確保及び適切な事業を執行し、事業の進捗を図る。  
 市街地整備課所管の市有地の除草等管理をする。  
 市街地整備課所管の修景物の調査を行う。